

令和5年度 焼津市自主防災組織活動指針

組織の継続性を保つため 「チャレンジ」・「チェック」ができる 自主防災会組織の体制づくりを目指す

災害時における地域防災体制の強化を図るため、「わが家の安否確認カード」の活用やデジタル化の推進などの企画立案を行い、防災訓練にチャレンジ（挑戦）し、チェック（振り返り）を行い、組織の継続性が保たれた自主防災組織の体制づくりを目指す。

併せて、「共助」の要となる自主防災組織として、多様な市民に対応した組織運営ができるよう、周知徹底を図る。

訓練実施計画 ※活動指針を踏まえた訓練計画の企画立案をお願いします。

総合防災訓練

夏・夜 「夜間ウォークスルー避難」

R5
8/26
(土)
18:30
~20:30

- 夜間における発災を想定し、避難経路と危険箇所の確認・安否確認を中心とした訓練をチャレンジして展開する。
- 安否確認は、「わが家の安否確認カード」を活用し、ウォークスルー方式で訓練を実施し、参加者の密集を避けながら行う。
- 県防災アプリ「静岡県防災」の活用を周知する。

9/28(木) 平日・昼 シェイクアウト訓練 ※事業所中心の訓練です。可能な限りご協力お願いいたします。

地域防災訓練

冬・休日 「地域でチャレンジ訓練」

R5
12/3
(日)
午前

- 各地域が主役の訓練であり、市内全域で地域の課題にチャレンジして取り組む訓練とする。
- 「発災後、自主防災会が避難所を開設する」という想定のもと、市内の避難所で自主防災組織役員による開設訓練にチャレンジする。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した訓練
- 静岡県防災アプリ「静岡県防災」を活用した避難所受付を実施することで避難所のデジタル化を推進し、スマートな避難所開設方法にチャレンジして検証の機会とする。
- 市は訓練支援隊を編制し、関係機関と共に地域の訓練を支援する。

津波避難訓練

春・津波対策 「チェック・災害時初動訓練」

R6
3/3
(日)
午前

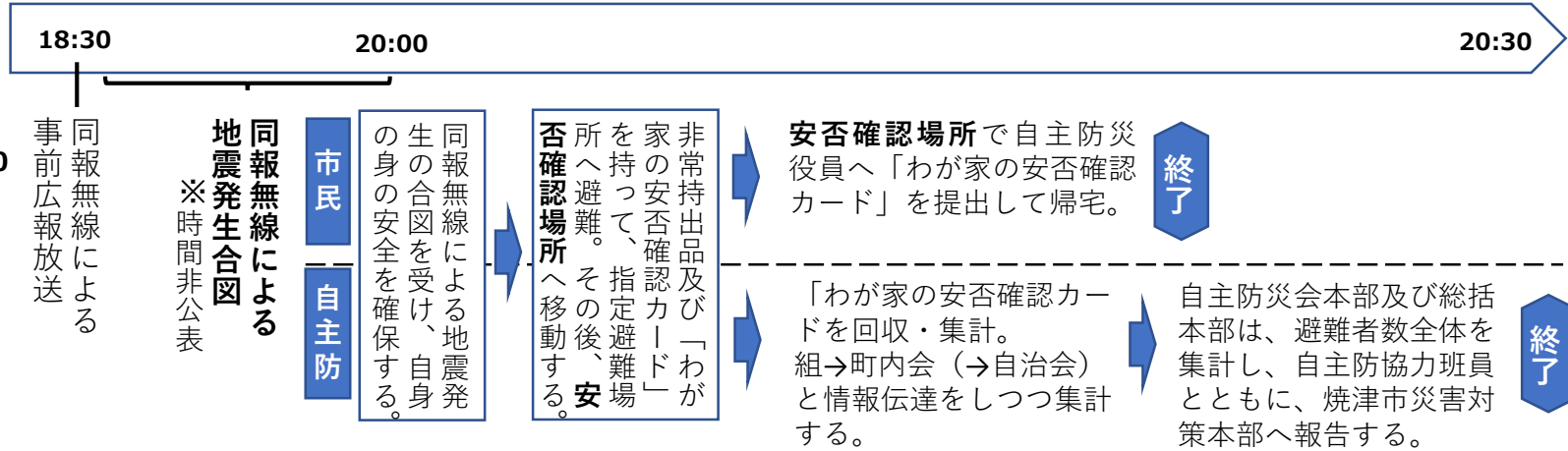
- 沿岸部を中心に津波避難行動を実施。沿岸部は津波避難行動、その他の地区は発災直後の初動対応のチェックと併せて1年間の振り返りをした訓練内容とする。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した訓練
- 高齢者施設や福祉施設と連携した避難訓練や避難所運営など、新たな試みやテーマ性をもった訓練も検討する。

夏の総合防災訓練の流れ（タイムスケジュール）

夏・夜 夜間ウォークスルー避難

※こちらはイメージです。
自治会・町内会によって、
訓練内容や流れが異なる
場合があります。

R5
8/26
(土)
18:30~20:30



★発災直後では、ライフラインがほぼ寸断されるため、安否確認をする方法として「わが家の安否確認カード」を活用することにより、行方不明者をいち早く確認し、地域内での救助活動等に対応する手段として非常に有効である。夏の訓練では、夜間に発災したことを想定し、避難先及び安否確認場所への避難経路の夜間における状況確認を実施する。

◎南海トラフ巨大地震の被害想定（ライフライン復旧見込み）

- ・電 気…約1週間
- ・ガ ス…約4週間
- ・上水道…約5週間
- ・通 信…固定電話 約1週間／携帯電話 数日～約2週間